



# ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 132

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問) 軍用犬に関する資料が読みたい。

答) 「軍用犬」をキーワードで検索してみます

図書 → ことばから調べる → 軍用犬 ⇒ 50件

『児童百科大辞典 10』(031/J48/10) 閉架書庫

『満州事変から日中全面戦争へ』(210.19/Se73/22) 閉架書庫

『戦争と平和』少年少女の記録 2』(375.86/A38) 開架児童書棚

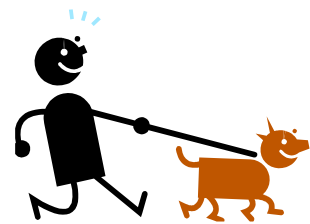
『帝国陸軍戦場の衣食住』(383/R25/39) 開架一般

『国防大事典』(390.3/Ko45) 閉架書庫

『国民参考兵器大観』(559/H36) 閉架書庫

『兵器篇』(559/To18) 閉架書庫

『犬の現代史』(645/I42) 開架一般



※軍用犬とは軍事上の必要に応じ伝書、警戒、偵察などの訓練を施した犬。

他にも馬や鳩が戦争に利用されました。ぜひ検索端末を使って調べてみませんか。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等は、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

# 8/15 終戦記念日を終えて(第2回)

終戦記念日を迎えた8月に「なぜ原爆が落とされるまで降伏しなかったのか」「原爆が投下されなかったら、戦争が終わらず、もっと多くの人々が戦死していた」というアメリカ人の方がほとんどで、自分は全く反論できないのが悲しい。何か別の観点から論じた本はありませんか？」といった声がありました。これを機会に終戦に関わった人々の著作等から終戦への流れと原爆開発の流れを3回に分けて追ってみることにしました。今回はその2回目です。第1回目(NO.127)では、戦争終結工作の流れをまとめましたが、今回は、ポツダム宣言についてです。

## ①『終戦の表情』(鈴木貫太郎述 昭和21年発行/392.1 Su96)

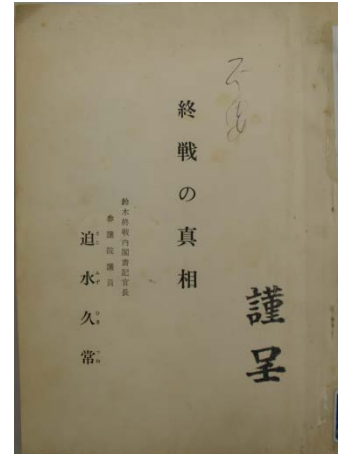
\* 鈴木貫太郎：終戦時の内閣総理大臣

## ②『終戦の真相』(迫水久常著 昭和30年発行/210.75 Sa43)

\* 迫水久恒：終戦時の鈴木内閣の内閣書記官長

## ③『日本のいちばん長い夏』(半藤一利著 平成19年発行/210.75 H29)

\* 終戦時、帷幕のうちにあった人、前線にいた人、新聞記者等30人が一堂に会し、「その日」を説き明かした座談会(昭和38年開催)をまとめたもの。



### 昭和20年7月27日 ポツダム宣言発表

- ② ポツダム宣言にソ連の名が見られなかったので、一種の疑惑をいだき、何らかの裏面的了解事項がソ連米英支間で取り交わされているのではないかと臆測したが、とにかくソ連からの回答を待つことにした。
- ③ 政府はソ連に仲介を申し入れているところだったため、全く予期していないことだった。ソ連がこれに関与しているかどうか、第一議論だった。ソ連からは、ポツダム会議が済んでから仲介の申し入れに対する返事をするといった通告がきており、仲介話は中断されていた。

### 昭和20年7月28日 ポツダム宣言に対する意志表明を行った。

- ③ 「日本の無条件降伏を要求してきたが、これはカイロ宣言の焼き直しに過ぎない。重要視しない。」と表明。今なら「ノーコメント」での一語ですむが、当時は英語を使用してはいけない時代。“重要視しない”を繰り返しているうちに“黙殺(ノーコメント)”という言葉が出てきた。これをアメリカ側では“拒絶(reject)”と受け取った。これが原因で、アメリカは原爆投下をソ連は参戦を決意したと言われる。

しかし…！原爆投下命令は、ポツダム宣言発表以前の7月25日に下されおり、すでに決定していたのです。

次回は、原爆開発等にまつわるアメリカ、イギリスの動きを追ってみたいと思います。つづきますので、

乞うご期待！

(\* 記述中の番号は、上記資料の該当資料番号です。)

～図書室より～

3月1日(火)～14日(月)資料整理、点検作業のため休室します。新しい本も1500冊ほど増えます。点検終了後は、検索端末の「新着資料」で確認できますので、どうぞご利用ください。

ぶらりらいぶらりい～図書室にはこんな本があります～ NO.132

2011年2月20日発行／編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1